



「公共建築のこれから～とことん使う知恵～」

平成23年12月17日(土) 18時
世田谷区区民会館集会室

世田谷区世田谷 4-2-27
小田急線梅が丘駅下車、徒歩15分
東急世田谷線松蔭神社駅下車、徒歩6分

私たちに身近な学校やコミュニティーセンターなどの公共施設の多くは戦後建てられた建物ですが、まだ物理的耐用年数を満たさない建物までが次々に建替えられようとしています。世田谷区でも毎年かなりの予算がそのために使われています。もちろん人命を守るための耐震工事は早急に必要とされますが、まだまだ使える建物を壊して次々に新築することが低炭素時代にふさわしいかどうかをそろそろ考える時期に来ているといえるでしょう。欧米では建物を改修して新しい使い方をする事例が多く見られますが、我が国でも古くなった建物を改修して再生したり、統廃合で使われなくなった小学校の校舎を改修して他の使い方を始めた例などが話題にのぼるようになってきました。

このシンポジウムでは防災や公共投資縮減、省エネルギーの観点も踏まえながら、これからの公共施設のありかたや、これをいかに長く楽しく使ってゆくかについて、行政や様々な関係者の視点から考えていきたいと思います。

参加費は無料ですが、200部ほど資料を用意しております。資料代は500円です

受付・会場 17時40分より 先着220人

シンポジウム 18時00分より

パネラー 保坂 展人(世田谷区長)

黒崎 輝男(デザインプロデューサー) 鯉坂 徹(建築家) 市原 出(東京工芸大学教授)

野沢 正光(建築家) 彦根 アンドレア(建築家)

モデレーター 小林 正美(明治大学教授)

パネラーのプレゼンテーションの後、休憩、19時30分ころより、意見交換 21時前後終了予定

主催：社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部世田谷地域会

後援：世田谷区

社団法人 日本建築学会(予定)

連絡先：世田谷地域会事務局(有) 黒木実建築研究室 TEL03-3439-4190 FAX03-3439-4726 E-Mail:skyland@jcom.home.ne.jp

